

## ブラウザ上で、短時間で学習できるデジタル教材を活用してみませんか

東京都教育委員会が作成した「情報活用能力 #東京モデル」で示している「基本的操作」、「情報活用」、「情報モラル・セキュリティ」の領域の資質・能力を、子供たちが学習者用端末で身に付けることができるようデジタル教材を制作しました。

一人1台の学習者用端末を活用して、子供たちが「いつでも・どこでも」「自分のペースで」学習に取り組むことができる**64コンテンツ**を掲載しています。



## 教材のポイント：3種類の教材で学べる

### ①一人1台端末で実際に操作して学ぶ

(教材例：タイピングをマスターしよう！)



制限時間の60秒以内に、出てくる単語や文章をできるだけ多くタイピングします。レベルは「イージーモード」と「ノーマルモード」を選択することができます。ゲームが終了すると、タイピングできた文字数(得点)と、正しく入力できているか表示されます。

### ②クイズで楽しく学ぶ

(教材例：安全に利用するには理解してコンテンツを選ぼう！)



クラウドサービスやインターネットの様々なサービスを利用する際には、どのようなことに注意しなければいけないか、クイズ形式教材で正しい知識を身に付けて、日常生活に活用することができます。

### ③動画で学ぶ

(教材例：発表資料を作るには)

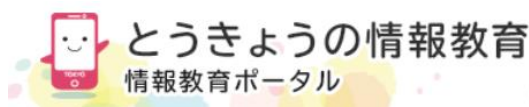


動画では、PowerPointとGoogleスライドの2種類の基本的な操作方法を学ぶことができます。操作の項目ごとに動画を視聴できるので、操作方法が分からないところを選択して視聴することができます。

## 活用例

- ・朝や昼の短時間学習において一定期間、情報活用能力を育成するために本教材を活用する
- ・各教科等の学習の中で、学習内容に応じて、本教材を活用して学ぶ

※情報教育ポータル「とうきょうの情報教育」に実践事例を掲載しています。



<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digitalmaterials.html>

担当：東京都教育庁総務部教育政策課情報企画担当 (kyoiku\_ict\_joho@section.metro.tokyo.jp)